

第3回共同経営・統合新病院整備に係る有識者会議 議事要旨

- 日時 令和6年2月23日(金) 13時00分～13時45分
- 場所 ホテル青森4階 錦鶏の間
- 出席構成員(13名) 青森公立大学 足達准教授  
東北大学 岡田教授(リモート)  
弘前大学 片岡教授  
弘前大学 福田学長【座長】  
青森市医師会 北畠会長  
青森地域広域事務組合 村上消防次長(佐藤(芳)消防長の代理出席)  
平内中央病院 首藤院長  
全国自治体病院協議会 丹野青森県支部長(十和田市立中央病院事業管理者)  
医療法人芙蓉会村上病院 水木院長  
青森市町会連合会 佐々木会長  
乳がんピアサポートBECあおもり 佐藤(庸)代表  
血液疾患と歩む患者・家族の会 納谷氏(青森県医療審議会委員)  
青森市病院運営審議会 原子前委員
- 欠席構成員(1名) 青森県医師会 高木会長

○案件

- (1) 第2回有識者会議の議事要旨について  
(2) 共同経営・統合新病院整備に係る基本的事項の見直し(案)について

○その他(報告資料)

**(1) 第2回有識者会議の議事要旨について**

- ・意見なし

**(2) 共同経営・統合新病院整備に係る基本的事項の見直し(案)について**

**【① 見直し案について】**

(福田座長)

- ・これまで行った2回の有識者会議でいただいた意見を基に、県と市で取りまとめたものを説明いただいた。今後、県議会や市議会で議論されていくこととなるので、有識者会議としても議論を注視していく必要があると考えている。

**【② 地域医療連携推進法人について】**

(水木構成員)

- ・県立中央病院と青森市民病院は、ともに急性期病院で二次、三次救急を行っているが、圏域の連携という意味では二病院だけで法人をスタートするよりも、一次救急や回復期機能を担う民間の病院が法人立ち上げの初めから参入した方が良いと感じる。

(北島構成員)

- ・市の医師会に所属しているのは個人病院の先生が多い。法人という大きな枠組みの中に参加して地域医療を育てていくことができれば良いと思う。地域では有床診療所が少なくなっていることから、両病院退院後の転院先としての役割は難しいかもしれないが、在宅医療ということではお手伝いできると思う。

(首藤構成員)

- ・平内や外ヶ浜の病院で問題なのは、急性期の治療が終わった後、早い段階で転院を受けざるを得ない状況で医師が足りないこと。法人から医師の応援をすることなどでカバーしてくれるようになれば、転院がよりスムーズにできると思うので、法人はすごく魅力がある。

(丹野構成員)

- ・法人を立ち上げることは大変いい。法人設立について、短期、中期、長期の3段階で拡大していく形にしているが、流動的に対応してもいいと思う。最初から地域の病院などに入っていれば、いい形で統合も進むと思うし、圏域の医療としても良い方向に進むのではないかなと思う。

(村上構成員代理)

- ・圏域の1次、2次、3次医療機関の機能分担と連携強化を進めていただきたい。そういう意味では、法人という枠組みで、圏域の調整を行うことはいいことだと思うので、可能な限り早急に進めていただきたい。

(納谷構成員)

- ・患者の立場としては、納得して急性期、回復期、在宅医療に転院等ができるようにして欲しいという思いがある。急性期退院後、在宅医療となる場合は、福祉サービスが必要となるが、そのためには、病院内にケアマネージャーを置くなど、早い段階から福祉分野と連携されていけばいいと思う。

(福田座長)

- ・両病院と既に連携している地域の医療機関が加わって、切れ目のない連携を持ち、顔が見える組織を作っていくことが、一番患者さんが納得して転院等ができる体制になると思うし、そのための仕組みをなるべく早く作ることが必要だと思う。短期、中期、長期と段階的にしているが、そうではなく早めに仕組みを作ることを検討するのがいいと思う。

## **その他（青森市統合新病院整備場所等検討会議での検討状況等）**

(福田座長)

- ・個人的な意見として言わせていただくと、検討会議は青森市が開催していることもあり、市にどうあるべきかという議論が強く、県民からの視点での議論が少ないと感じた。有識者会議では、県民にとってどうなのかということも御意見いただければと思う。

(首藤構成員)

- ・広い場所であれば40年後に再び整備場所の議論をする必要もなく、隣に建て替えることができるのではないかな。

(片岡構成員)

- ・前回の有識者会議でコメントしたが、次の建て替えも見据えて整備場所を考えていくことが望ましいと思う。

(福田座長)

- ・40年後、50年後を見据えて、ここがいいんだという意見を皆様方からお聞かせ願えればと思う。40年後の青森県は人口もかなり減ることが見込まれており、そうした中でどういう病院にするかということを考えるとかなり複雑になるものの、この観点は議論を進めて行く上で外せないと思う。今後、議論する上で必要なデータ等があれば事前にお知らせいただき、次回以降の会議で議論していくこととしたい。

以上